

事業報告書

令和7年度

【令和7年4月1日から令和8年3月31日まで】

学校法人 山田学園

1. 法人の概要

① 名 称：学校法人 山田学園【昭和43年3月28日法人設立】

② 住所等：大阪府守口市金田町2-27-10

電話番号 06-6901-8873

ファックス 06-6901-3199

ホームページ <http://kinda.ed.jp>

メールアドレス info@kinda.ed.jp

③ 設置する学校

学校の名称：認定こども園金田幼稚園（幼保連携型認定こども園）

④ 理事長氏名：山田 敏和

*理事6人、評議員7人、監事2人

⑤ 教職員の状況

(R7.4.1時点)

園長1名 副園長兼主幹保育教諭1名 主幹保育教諭1名 保育教諭38名（常勤22名・非常勤16名） 子育て支援員6名 看護師（非常勤）1名 清掃員1名
運転手兼事務員1名 事務員1名 【計51名】 バス運転手委託1名 給食委託（魚国総本社） 常勤産休1名

(R8.3.31時点)

園長1名 副園長兼主幹保育教諭1名 主幹保育教諭1名 保育教諭36名（常勤22名・非常勤14名） 子育て支援員6名 看護師（非常勤）1名 清掃員1名
運転手兼事務員1名 事務員1名 【計49名】 バス運転手委託1名 給食委託（魚国総本社） 常勤産休1名

7年度末退職者（常勤0名、非常勤6名）8年度新規採用者（常勤0名、非常勤5名）

2. 事業の概要（令和7年度金田幼稚園の概要）

① 教育方針

・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、基本的生活習慣と社会に適応できる基礎的な態度が身につく。

・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、友達と力を合わせてがんばったり思いやりったりしながら充実感を味わう。

・一人ひとりの子どもが園生活を楽しむ中で、豊かな感性を培うことができる環境を与え、素直に自己表現ができる。

② 学年、定員、実員（内訳）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
認可定員	9	12	12	60	60	60	213
利用定員	9	12	12	53	53	53	192
R7.4.1	6	12	15	49	47	54	183
R8.3.31	6	12	15	50	47	54	184

認可定員：１号認定子ども１４１名、２号認定子ども３９名、３号認定子ども３３名
 利用定員：１号認定子ども１２０名、２号認定子ども３９名、３号認定子ども３３名

③ ○ 教育時間

月～金曜日：午前保育時：午前９時～午前１１時３０分
 午後保育時：午前９時～午後２時 ３０分

○ 保育時間

月～土曜日：午前７時３０分から午後６時３０分

○ 日・祝日：休園

④ 費用等

(１) 入園までにかかる費用

入園検定面談料（１・２号）	3,000円
受入準備金（１・２号）	20,000円
施設充実費（１・２号）	30,000円 ただし、０～２歳児から在園している場合は施設充実費は不要
施設充実費（３号）	30,000円
冬制服一式（体操服込）（１・２号） （制服類・制帽子）	26,470円（男児） 26,940円（女児）
冬体操服２セット（２歳児）	11,200円
スモック（１・２歳児）	1,450円
組帽子（０～２歳児）	1,070円
連絡帳セット（０～２歳児）	450円
用品代（１・２号） （制靴含む）	（３才児）16,490円 （４才児）21,790円

(２) 入園後毎月必要な費用

保育料	園児の居住する市町村が定める額
特定保育料（教育充実費）	4,000円（１号） 5,000円（新２号） 6,000円（２号） 3,000円（３号）
PTA会費	800円
給食費（１・２号のみ）	5,400円（１号） 減免者は2,400円 ※380円 8,100円（２号） 減免者は3,600円
諸費（年度末に精算し余剰金は返金）	５歳児：2,100円 ４歳児：1,900円 ３歳児：1,800円
寝具類（３号）	タオルケット （敷き・掛け２枚組） 1,250円

	布おむつ・カバー (半月ごとの精算)	6,450円 (0歳児) 5,600円 (1歳児) 3,000円 (2歳児) (紙おむつ)
--	-----------------------	---

(3) 利用者のみ必要な費用

バス利用料 (1・2号)	往復3,000円 (片道2,000円)
バス申込金	初回3,000円

(4) ホームクラス利用料

1号 認定	早朝保育		教育時間	預かり保育①	預かり保育②	
	7:30～	8:00～	8:50～14:30(午前保育 11:30)	～16:30	～17:30	～18:30
	100円 (1,000)	200円 (2,000)	♪	500円 (5,000)	200円 (2,000)	200円 (2,000)
2・ 3号 認定	延長保育		保育短時間		延長保育	
	7:30～	8:00～	8:30～16:30		～18:30	
	100円	100円	♪		30分100円	
	保育標準時間					
	♪ 7:30～18:30					

※長期休暇中は別体系あり

⑦ 行事の実施状況 (特に記載のないものは幼児)

- 4月/入園式(乳幼児)、進級式、参観、PTA総会、給食開始、懇談
- 5月/夏野菜の栽培(年中・年長)、尿検査、遠足ごっこ(年少)、いちご狩り(年中・年長)、運動参観、移動動物園、こどもまつり参加(年長)、記念撮影、園内研修
- 6月/参観懇談(乳児)、内科・歯科検診、視力・色覚検査、プール開き、園内研修
- 7月/七夕参観、ぶどう狩り(年少)、個人懇談、終業式、宿泊保育
- 8月/始業式、消防署見学(年長)、乳児参観
- 9月/ぶどう狩り(年中・年長)、運動会(乳児)、消防音楽鑑賞会、園内研修
- 10月/運動会、いも掘り(幼児)、遠足ごっこ(乳児)、園内研修
- 11月/あそびの広場、鶴見緑地(2歳児)、深北緑地(3～5歳児)、お店屋さんごっこおよび参観、交通安全教室、ピザパーティ、園内研修
- 12月/生活発表会(乳児)、もちつき、クリスマス会(乳幼児)、保育参加懇談(乳児)、個人懇談、終業式、園内研修
- 1月/始業式、アルバム撮影(年長)、新入园児一日入园、内科検診、園内研修
- 2月/豆まき、生活発表会、海遊館(年中)、個人懇談(年長)
- 3月/ひなまつり会、小学校見学(年長)、ドリーム21(年少)、奈良おもちゃ博物館(年中)、大阪市立科学館(年長) 個人懇談(年中・年少)、お別れ会、卒園式、修了式

- *その他毎月、身体計測・避難訓練・食育活動・誕生会・園庭開放を実施
- *随時、子育て相談を実施

⑧ 今年度の主な目標および計画の達成度

今年度も支援の必要な子どもの数が多い中、加配教員を全クラスに配置し、具体的には3歳児クラスでは3クラスに4名、4歳児クラスでは2クラスに3名、5歳児クラスでは2クラスに3名の計10名を配属することで手厚い環境を整えられた。

安全管理の面では、地震・火事・津波・不審者を対象にした避難訓練を行うとともに、小学校の協力のもと、小学校への避難も実施できた。

情報発信の側面では、園だより・学年だより・クラスだより・園長だよりなどとともに、毎日ブログで当日の様子をアップするとともに、定期的にInstagramで動画の投稿も行った。

研修については大阪府私立幼稚園連盟の対面研修に幼児正規のほぼ全職員が参加できたが、それ以外の研修の受講は減っており、働き方とのバランスを取る必要を感じた。他に、キャリアアップ研修は対象者が積極的に受講していた。園内研修は年7回実施し、園内ECEQと称して保育の見合いをし、指摘しあうことができた。

人材育成の面では、今年度は新卒者が3名と経験者1名が新たに入ったため、子ども理解・指導案やドキュメンテーションの作成・支援児の対応など具体的に携わり、担任を持たないベテラン教員によるフォロー体制の構築により、常に質問やアドバイスのできる環境を整えた。毎月の新人会議、新人指導の指導案を作成することができた。

⑨ 経営にかんする部分

今年度は年度途中で非常勤職員1名および新卒の正規職員1名の退職があり、年度末にて非常勤職員6名の退職があったが、年度途中で正規1名を確保し、年度スタートに向けて非常勤5名の採用があったため、体制に変化はなく、幼児のクラス補助の人数は増えている。乳児クラスでは採用がなく、正規9名、非常勤5名体制のまま1年間対応した。

また、園児数については乳児クラスは昨年同様だが、幼児クラスは1号の入園者が微減となっていることから、就労家庭への対応が喫緊の課題であり、2号認定の枠を広げつつ、1号認定の枠を減らすことで対応するべく変更申請を提出した。